

9番 早川ケン子です。通告に基づきまして、一般質問を行います。

はじめに、「町民の健康推進について」お伺いします。

私は、議員になる前から「食生活改善グループいわいずみ」の活動を行っており、昭和58年12月に仲間20人と共に、県が主催した栄養教室を受講しました。平成9年から市町村に食生活改善推進員養成講座が移管され、各地区に仲間が増え、現在の会員数は46人となっております。

また、平成18年には町の保健福祉課から健康情報誌「まめで達者で もりもり元気」を発刊していただきました。人が生きていくための基本としての「食」について、<sup>はたけやまとみじ</sup>畠山富而先生のご指導も仰ぎました。また、町内の各分野の栄養士さんにも大変お世話になり、多くの食生活改善推進員も参加しました。

コロナ禍の影響もあり、直近では、平成30年に「健康情報誌」が発刊されていると記憶しておりますが、その中には岩泉

の食材を利用し、四季を通じた料理が数多く掲載されています。そこで、食を通して町民の健康の増進を図るため、この「健康情報誌」を活用して地域での料理教室を開催するなど、活動に取り入れるべきと考えますが、町長のご所見をお伺いします。

現在、町では、「いきいき百歳体操」に力を入れておりますが、現時点で何団体が活動しているか、お伺いします。

また、かつて「まめもり体操」にも取り組んでいたと思いますが、現在はどのような状況なのか、併せてお伺いします。

次に「子ども食堂」についてお伺いします。

旧小川小学校が統合されてから、褰綿地区では学校がなくなり、子供達との交流の場がなくなりました。一昨年、総務常任委員会において「子ども第三の居場所事業」の先進地視察を行いました。その中で「子ども食堂」は、地域の実情に合った活動で良いと理解してきました。子供を通じて両親が地元の食材

に関心を持っていただければ幸いです、「子ども食堂」を実施したい団体がある場合、町はどのような支援を考えているのか、お伺いします。

以上で本席からの質問を終わります。

## 9番 早川 ケン子 議員の御質問にお答えします。

初めに、町民の皆様の健康推進についてであります。議員御案内の情報誌は、良好な生活習慣に基づく健康づくりなどを推進するため、岩泉の食や運動、生活習慣などを掲載した健康情報誌「まめもり」で、食生活改善グループいわいずみ会の皆様に全面的な御協力をいただき発行したものであります。

この情報誌には、「町内各地区の食材を利用した四季を通じたレシピ」を掲載しており、現在でも、「小中高生対象の郷土食講習会」「各地区で行われている介護予防教室での食事会」などに取り入れられているほか、先般開催された食生活改善グループいわいずみの40周年記念事業におきましても、掲載レシピによる郷土食が提供されたところでもあります。

今後におきましても、町民一人ひとりが、食を大切にす意識を高め、正しい知識を習得し、生涯を通じた望ましい食生活の実践が重要であることから、令和6年度に、食生活改善グループいわいずみへの運営支援を検討しており、情報誌等も活用しながら、当該団体と連携・協力を深め、相談指導、周知啓発を行うとともに、食生活改善推進員養成講座により新規会員を養成し、体制の充実を図りながら、さらなる食育の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、「いきいき百歳体操」の活動団体数についてであります。現在、自主活動団体は35団体となっております。介

護予防活動の実践と併せて、貴重な地域の交流の場となっております。

次に、「まめもり体操」についてですが、現状は、個人でも実践しやすいよう、ホームページとぴーちゃんねつとに動画を配信しているほか、自主活動団体の皆様に対しては「いきいき百歳体操」と併せて「健幸アップポイント事業」の対象として取り組んでいるところであります。

町民の皆様が、健康活動を習慣づけていただくため、それぞれ自分に合った運動を取り入れ、無理なく健康づくりに取り組んでいただけるよう、引き続き注力してまいりたいと考えております。

次に、「子ども食堂」についてですが、子ども食堂は、世代間交流や食育の拠点として、子ども同士、親同士のコミュニケーションの機会になるだけではなく、食事を提供してくれる方々や食事を食べに来た高齢者など、地域の多様な人とのつながりも育むなど、目的は様々で、任意団体やNPO法人などが運営しているものが一般的であります。

町では、令和元年度に、百楽苑を主体とした町内の福祉団体が「子ども食堂」を開催いたしました。その際には、後援団体として支援をしてきたところであります。

今年に入りまして、町内の2つの団体が「子ども食堂」を試行的に実施すると伺っており、去る2月11日に「さくらほうむ」で開催した団体からは、子どもを中心に大人や

高齢者など40名を超える参加があったと伺っており、もう一方の団体においても、開催に向けて現在準備を進めていると伺っております。

町ではこれまで、開催場所の確保や住民周知への協力などを行っているところではありますが、活動に当たっては、提供食材の確保、関係団体とのネットワーク構築などの課題が想定されますことから、実施団体と情報共有を図りながら、連携してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で答弁を終わります。